

公益社団法人全日本トラック協会青年部会

令和5年度事業計画

〔Ⅰ〕基本方針

我が国の国民生活、産業活動を支えるライフラインとして重要な役割を果たすトラック運送事業が今後とも活力と魅力のある産業として発展を続けていくためには、将来の発展・成長に向け常に前向きな取り組みを行う、意欲のある若手経営者の育成が必要不可欠である。

公益社団法人全日本トラック協会青年部会では、全ト協における中小企業経営基盤強化対策事業の一環として、経営の次代を担う青年経営者並びに事業後継者の育成を目的とした研修及び相互研鑽の機会や社会貢献活動等を通じ、トラック運送業界の進展に寄与していく。

併せて、本部会が所属する経営改善・情報化委員会からの諮問に対する答申を通じ、部会員の要望を取りまとめ、部会組織の意見として積極的かつ適切に発信していくこととする。

さらに、関係機関・行政機関や他業界の青年組織と意見交換・定期的交流等を通じ、部会のさらなる活性化、部会員同士の結束を深め、部会員においては自社の経営改善に結び付けることができるよう、組織として最大限の効果を発揮し、様々な活動を展開していくこととする。

〔Ⅱ〕事業計画

1. 研修事業

(1) 全日本トラック協会青年部会・全国大会の開催

事業後継者育成及び相互研鑽を目的に、全日本トラック協会青年部会及び各都道府県トラック協会の青年組織の会員が一同に会し、自社の経営改善対策となる実践に即した研修等を行う「全日本トラック協会青年部会・全国大会」を開催する。

(2) 全国代表者協議会・研修会、正副部会長会議の開催

全ト協青年部会の活動に関する意見交換、業界を取り巻く最新情報等に係る研修を行うことを目的に、青年部会全国代表者協議会・研修会を年3回程度開催する。

また、「全日本トラック協会青年部会・全国大会」の開催・運営および全ト協および各都道府県トラック協会青年部会の今後の活動の方向等について意見交換を行い、組織の強化を図ることを目的に、正副部会長会議を開催する。

(3) ブロック大会に対する後援

全国9ブロックで開催するブロック大会への後援を行う。

(4) 青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰事業の実施

都道府県トラック協会の青年組織に所属する経営者等が行う先進的かつ創意工夫があり、他のものの模範となる収益性向上等の事業に対し顕彰を行う。

2. 経営改善・情報化委員会からの諮問に対する答申

本部会が所属する経営改善・情報化委員会からの諮問に対する答申を通じ、部会員の要望を取りまとめ、部会組織の意見として積極的かつ適切に発信する。

3. 関係機関・行政機関、および他業界組織青年部、女性部会との意見交換

業界を取り巻く情勢や他業界の取り組みを聞き、部会の活性化や部会員の自社の経営改善に資するため、関係機関・行政機関や他業界の青年組織、全ト協女性部会との意見交換・定期的交流を実施する。

4. 社会貢献活動の実施

自然災害等の発生に際し、被災地のニーズを迅速かつ適格に捉え、積極的な支援活動を行う。また若年ドライバーの確保のため、自動車教育課程を有する高等学校に整備実習用トラックの寄贈を行う。

さらに、青年部会の活動をPRするため、全国の青年組織が行っている社会貢献活動をホームページやFacebookを通じて発信する。

なお、これらの取り組みにあたっては、部会員の十分な議論の上で具体的な活動内容を決定し、全国青年組織のネットワークを最大限に活用することとする。

また、都道府県・支部単位の青年組織が実施する清掃活動について、事例共有・呼びかけ等により、広域に普及させるための支援を行う。

国連が進める持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向け、森林保護の一環として会議資料のペーパーレス化を進める。

5. 業界課題への重点的な取り組み

次代のトラック運送業界を担う青年部会員として、業界が抱える課題の解決に積極的に取り組む。（別紙「令和5年度（公社）全日本トラック協会青年部会重点取組」を参照）

以上

令和5年度（公社）全日本トラック協会青年部会重点取組

我々青年部会は、次代のトラック運送業界を担うため、業界課題に積極的に取り組んでいきます。

特に以下の課題に対して、青年部会に所属する会員企業が率先して取り組みます。

「2024年問題への対応」

1. 「適正運賃収受」：従業員の処遇向上の
原資確保に向けた荷主等との交渉実施
2. 「時短」：ドライバーの労働時間短縮および
現場の業務効率化に向けた具体策実行
3. 「働きやすい職場認証制度」認証取得による
労働環境の向上
4. 「物流DX」導入に向けたアクション実施